

金城学院大学 シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	14310001
授業科目名(Course name)	Cross-Cultural Communication		
担当者(Instructors)	桑原 牧子		
開設学部学科(Department)	文学部 外国語コミュニケーション学科	科目分類番号(Course classification number)	252
開講クラス(Class)	(文) 2	開講形態 (Course format)	講義
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	前期 火曜 1 限	担当形態 (Instructor format)	単独
実験実習費 (円) (Experiment/training fee (yen))		履修者数上限 (名) (Maximum number of students)	120

■授業の概要(Course outline)
現在、私たちは、海外だけではなく国内においても、異文化に接する機会を多く持つ。異文化を理解することは、自らの文化を理解することでもあり、さらに、異文化と関わりを持つことは、自らの文化を変容させたり、新たな文化を生じさせたりすることにもつながる。本講座では、異文化間の接触・交流に関する様々な事例を紹介しながら、そこで生じるダイナミックな文化変容についての理解を深める。

■到達目標(Course goals)
文化接触によって生じる融合、衝突、変化を理解することができる。

■履修上の留意点(Important points)
なし

■学位授与方針 (Diploma policy)
2. 汎用的技能 世界の言語や文化の諸問題についての情報を適正に収集し、さまざまな研究理論を用いて分析し考察することができる。 ○ 日本語をはじめ外国語や種々の表現方法を修得し、多様な人々とコミュニケーションをとることができる。 ○ 3. 態度・志向性 自らを律し、他者と協働して目標の実現のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。 ◎

■授業計画(Lesson plan)
1. イントロダクション 2. 価値観と物事の捉え方①文化による価値観の相違について 3. 価値観と物事の捉え方②他者認識について 4. ステレオタイプ①ステレオタイプとエスニシティ 5. ステレオタイプ②ステレオタイプの回避 6. 時間と文化 7. 空間と文化 8. 前半まとめと中間テスト 9. 言語と文化 10. コミュニケーション

11. 言語コミュニケーション
12. 非言語コミュニケーション
13. コンテキスト
14. 異文化接触と多文化共生
15. 期末テストとまとめ

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)
レジュメの内容を復習する。

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)
毎回、授業内容に関する質問に解答し、感想も書いて提出する。フィードバックはmanabaの掲示板にする。

■テキスト・参考書(Textbooks/references)
毎回プリントを配布する。

■評価方法(Evaluation method)
期末テスト 30%
中間テスト 30%
毎回の質問・感想用紙 26%
期末復習ドリル 7%
中間復習ドリル 7%

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)
教員メールアドレスで質問を受け付ける。